

本県は、全国の都道府県に先駆け、「秋田県民の読書活動の推進に関する条例」を制定し、読書活動を推進してきた。
現在、条例に基づく「第3次秋田県読書活動推進基本計画」を策定の上、関係機関と協働しながら、家庭、学校、地域・職場といった生活の様々な場面における読書活動に取り組んでいる。

第3次秋田県読書活動推進基本計画（R3～7年度）

基本目標

生涯にわたって読書に親しみ、心豊かに

施策

- 1 家庭における読書活動の推進
- 2 学校における読書活動の推進
- 3 地域・職場における読書活動の推進
- 4 関係機関等との協働による読書活動の推進

体制

●計画の進行管理

秋田県読書活動推進本部
(知事を本部長とし、各部局長で構成)

●施策の一体的推進

秋田県読書活動
推進連絡会
(庁内関係12課所)

●市町村との協働

秋田県読書活動
推進連絡協議会
(県と25市町村)

これまでの取組

- 各世代に対応した読書環境の整備
- 学校における各種読書活動の推進
- 県立図書館による学校図書館や市町村立図書館などへの支援
- 点字図書館での視覚障害者への図書提供
- 絵本や児童書のリサイクル文庫の普及
- おすすめ絵本の選書、ウェブサイト等での紹介
- 県民読書の日記念事業「ふるさと秋田文学賞」の実施
- ウェブサイトやSNSを活用した情報発信 など

現状と課題

- スマートフォンなどの普及に伴う余暇活動の多様化
- 全国的な読書離れの進行
- 働く世代を中心に、読書をしている県民の割合が低迷

【令和6年度県民意識調査】

1日平均30分以上読書をしている県民の割合：**39.4%**

関係団体との協働による本に親しむ環境づくりや、多様な媒体による読書の楽しみ方を紹介することなどにより、個々のライフスタイルに応じた読書活動の推進を図る必要がある。

第11回ふるさと秋田文学賞

○11月1日の「県民読書の日」にちなみ、多くの人に秋田への愛着を深めてもらうとともに、広く読書に親しむ気運を高めるため、秋田を題材にした小説やエッセイを募集し、優秀な作品を表彰している。
○受賞作品は県公式サイトで公表するほか、作品集を刊行している。

読書の杜トークライブ

○読書を身近なものとして捉え、本に親しむきっかけを提供するため、読書と親和性のある著名人やタレントなどによる「読書」に関するトークライブを実施している。
○あわせて、「ふるさと秋田文学賞」の表彰式を開催している。
(令和6年11月3日開催)



あきたレビュー大賞2024

○県民の読書に向かう気運を高めるため、「その本を読んでみたい」と思わせる本の書評を募集し優秀作品を選考するレビューコンテストを実施。
○受賞作品については、新聞・ウェブサイトなどによりレビュー内容を公表している。

読書活動リトライ事業(新規)

○「聞く読書」をコンセプトに、仕事や育児などで読書から疎遠になっている方々に再び読書に触れてもらうきっかけとして、朗読やオーディオブックの紹介、文学作品で取り上げられている音楽の演奏などを行うイベントを実施する。
○あわせて、「あきたレビュー大賞」の表彰式を開催する。
○イベントの前後において、県内協力書店において、「音楽」に関連する展示コーナーの設置や、レビュー大賞でとりあげられた本の展示等のキャンペーンを展開する。(令和7年3月2日開催予定)

読んだッチ・リレー文庫



子供たちが身近な場所で読書に親しむことができる環境づくりのため、県民から寄贈された絵本や児童書を手入れし、保育園や幼稚園、病院などに配布して、子どもたちに読書の楽しさをリレーする。(※旧スギッチリサイクル文庫)

【実績(令和6年11月末現在累計)】

○寄贈者数: 1, 325名

○配布状況: 1, 015か所 / 22, 496冊

▶▶▶ 教育委員会への依頼事項

- ◆学校での朝読書など読書関連の取組充実
- ◆図書館と学校図書館の連携強化
- ◆図書館と書店等との連携強化
- ◆啓発事業への協力(県立図書館でのパネル展示、読書啓発イベントでのビブリオバトルの紹介など)